

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月29日

事業所名:放課後等デイサービス 視覚支援 あいあい教室

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	3	1	ホールや音楽室等の部屋も活用している。	
	2 職員の配置数は適切であるか	3	2	1	障がい特性等を考慮し、配置基準以上の職員を配置している日は多い。	今後も適切な支援が提供できるようにしていく。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	1	0		多目的トイレの室温調整ができるとよい。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	3	0		努力はしているが、その日の状況にもよる。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1	0		保護者向けアンケートと今年度から独自のアンケートを実施。保護者の意向の把握に努めていく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	0	ホームページに毎年掲載して保護者、職員、外部も閲覧可能にしている。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	1	1		今後行えるとよい。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1	0	法人、事業所内部および外部研修に参加。	
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	子ども本人のニーズを聴取するのが難しい場合もあるが、代わりに保護者の意向も聴取している。	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1	0	共有のケースファイルを参照している。	より定期的に各項目の共有、確認をする。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	0		
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	2	0		好評なプログラム・目的を持って繰り返し取り組むプログラムはある。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	3	0		きめ細やかまではできていない場合もあるため、より細かな設定ができるよう努める。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1	0	生活動作、視覚支援、宿題等含めた個別活動を行っている。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	2	1	伝達表を活用している。	シフトによっては難しい職員が発生するが、情報共有ツールの活用を積極的に行う。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1	1		シフトによっては翌日になることはある。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1	0	記録を各項目で記入できる書式を利用。	検証の頻度をあげていく。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0		
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5	1	0		今後とも活動内容を工夫していく。

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	5	1	0		子どもの状況をより把握している職員が参画するようにしている。
	21	6	0	0		都度適切に対応するようにしている。
	22	1	5	0		保護者経由で対応の確認を行っている。
	23	5	1	0	放デイ体験を実施。	あひの児童発達支援の継続の児童がほとんどなので、適宜情報共有を行っている。
	24	4	2	0		要望があれば実施している。
	25	6	0	0		外部評価や助言を幅広く取り入れる機会を設ける。
	26	5	0	1	地域のふれあい共生館の企画に参加。	
	27	4	2	0	定期的に参加。ライトハウスで行われる場合も多い。	様々な職員が参加できるように努める。
	28	5	1	0		子ども、保護者、各家庭状況を適切に把握し、支援できるよう努める。
保護者への説明責任等	29	4	2	0		学齢期の子どもたちを想定した保護者向けの視覚体験を行う。
	30	5	1	0	契約時、変更時、モニタリング時等を実施。	より丁寧な説明、定期的な確認を行う。
	31	5	1	0		どのような支援が考えられるかの職員共有をより高めていく。
	32	3	2	1		今年度は家族参加行事の開催のみとなっている。今後どういった方法がよいか検討し、実施する。
	33	5	1	0	苦情解決担当者を設置している。	
	34	6	0	0	毎月ホームページやつうしん、メール等を活用して発信。	
	35	6	0	0		定期的の方針やルールを確認する。
	36	6	0	0		より幅広い知識を身につけ、意思疎通に努める。
	37	2	4	0		法人で「ライトハウスまつり」や視覚障害啓発事業を実施している。

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	4	0		必要に応じて個別緊急時対応は保護者確認のもと作成している。教室全体としてのマニュアル共有までには至っていないため、見直して保護者が常時閲覧できるようにしていく。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	2	0	法人内および活動内で行っている。	防犯訓練の実施を行う。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	1	0	事業所内、法人内の両方で実施。	定期的に日々の支援を見直し、様々なことを発信しやすい環境作りを目指す。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	0	0	同意書で内容確認を毎年実施。	定期的の方針やルールを確認する。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	0	0	定期的に再確認している。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1	0	職員は常時閲覧可能になっている。	共有とその後の対応についてを深めていく。